学校番号	T0315

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）初級の国語	単位数	１単位	年次	１～４次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要な基礎的な国語の力である漢字や文の読み取り、多様な語彙の習得を心がけましょう。
・自ら目標に向かって学習する姿勢を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・社会生活において必要な基礎的な国語の特質について理解し、適切に使うことができる。
・社会生活における人との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。
・言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、国語を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	常用漢字の読み、書きに慣れ、文や文章の中で使うことで知識の定着を図る。実社会において理解したり、表現したりするために必要な語句の量を増し、文や文章の中で使うことで知識の定着を図る。	「書くこと」の領域においては、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫し、「読むこと」の領域においては、自分の思いや考えを広げたり、深めることができる。	言葉が持つ価値に気付くとともに、我が国の言語文化を大切にし、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	言葉について知るⅠ ［教材］ 「漢字学習」 独自教材プリント	a:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、理解する。 b[　書　]:「書くこと」において、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で適切に使うことができる。 c:常用漢字を書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を身に着けようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート 机間巡視
2学期	言葉について知るⅡ ［教材］ 「四字熟語」 独自教材プリント	a:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法、及び表記の仕方などを理解している。 b[　書　]:「書くこと」において実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、それらを適切な文脈で使うことができる。 c:熟語の働きや、言葉が持つ意味や価値に関心を持ち、考えることを通して、効果的に言葉を使おうとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート 机間巡視
	言葉について知るⅢ ［教材］ 「ことわざ」 独自教材プリント 「慣用句」 独自教材プリント	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解している。 b[　読　]:「読むこと」において、我が国の特徴的な語句の量を増し、文章の中で使うことができる。 c:ことわざや慣用句に対して興味を持ち、積極的に学んだ言葉を使おうとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート 机間巡視
3学期	言葉について知るⅣ ［教材］ 「話し言葉、書き言葉」 独自教材プリント 「敬語」独自教材プリント	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 b[　話／聞　]:「話すこと、聞くこと」において、 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて、場面に応じて、適切に用いることができる。 c:日常の言葉遣いなど言語生活に興味をもち、場面に応じた言葉遣いや敬意を込めた表現を積極的に用いようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト ワークシート	ワークシート 机間巡視

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　　…　（　３０　）時間
・読むこと　　…　（　０　）時間